



HSK

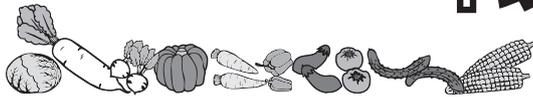
ながつき
長月号

NO.118 2010.9.10号

Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号462号
 発行/2010年9月10日
 編集者/我妻 武
 住所/〒063-0812
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
 TEL 011-614-1873 FAX 011-613-9323
 H P <http://npolife.net/>
 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会
 定 価/100円

NPOライフ研修会 Vol 01

『食材へのこだわり』と
『環境へのこだわり』

ひだまり配送センター 永田 陽子

2010年8月21日、ライフで今期初めての研修会が行われました。

北海道ワーカーズ・コレクティブの中瀬さんをお招きしてお話を伺いました。『食材へのこだわり』と『環境へのこだわり』という題目で、約2時間の研修でした。食材を扱うひだまりの一人として興味深くお話を拝聴しました。扱っている商品について、一通りの知識を持って販売してきましたが、研修を通して間違った知識が判明し、目から鱗でした。

一番興味深かったのは、環境へのこだわりという中でお話して下さった「石けん」の使い方でした。ひだまりでも環境を考えて、廃油石けんを商品として売っていますし、実際キッチンでは廃油石けんを使って食器やお弁当箱を洗っています。しかし、使い方一つで長所が短所となってしまうことを初めて知りました。廃油石けんというのは、少しの水で洗い流すのではなく（この方法では石けんの性質上かえって汚れが落ちづらく、逆に汚れを引き寄せてしまうそうです）大量の水で一気に洗い流すのが正しいそうです。知識を持って販売していたつもりでしたが、間違った使用方法をしていたことが判明し、大変勉強になった研修会でした。

また、食材へのこだわりのお話の中で地産地消という最近ではお馴染みの言葉も聞かれました。キッチンでは営業当初から国産・道産にこだわって料理を提供してきたので、大変共感できるお話でした。「フードマイレージ」や「ヴァーチャル

ウォーター」などの専門用語も飛び出しましたが、身近なことを例にお話して下さったので、理解しやすかったです。

中瀬さんが開かれている「おかずや花」は、今、問題になっている高齢者の方が多くお住まいになっている団地近くにあるらしく、単に食事提供しているだけでなく、ご注文いただくお客様、特に高齢者の安否確認の位置付けもされているそうです。

実際、ひだまりの近所でも高齢者が独居でお住まいになられています。まだ数人ではありますが定期的にご注文をいただいている方もいらっしゃいますので、今後そういったお客様たちの安否確認については大げさかも知れませんが、少しでもその役割を担っていったら、もっと地域に馴染んでいけるお店作りができる。そんなヒントをいただきました。



北海道ワーカーズ・コレクティブの中瀬さん

※ヴァーチャル・ウォーター

農産物・畜産物の生産に要した水の量を、農産物・畜産物の輸出入に伴って売買されていると捉えたものである。

※フード・マイレージ

食料の(= food) 輸送距離(= mileage)」という意味。食品の生産地と消費地が近ければフード・マイレージは小さくなり、遠くから食料を運んでくると大きくなる。

第27回 共同連全国大会 宮城大会

障害がある人もない人も「共に働く」社会的事業所をひろげよう
共に生き、共に働き、共に自立できる所得を！
～『社会的事業所』を目指して～



ライフから参加したメンバーたち

共同連宮城大会

ヘルパーステーション 繭結 佐々木 泰彦

8月28、29日に仙台市で開催される共同連全国大会に参加する為、26日の午後7時のフェリーに間に合うように苦小牧に向かいました。僕自身、フェリーでの移動は30年ぶりで車イスでの動きに心配な部分がありましたが船内の中を見ると、一般の建物となんら変わらなく段差もほとんどなく、各階に行くためにはエレベーターも普通にあり、僕が泊まった部屋は一等のバリアフリールームで部屋もトイレも広くて、なんら問題なくゆったりしていくことができました。

翌朝10時に仙台港に着き、その日は観光をするために松島に向かいました。松島に入ると景色があまりにもきれいで、素晴らしくとても感動し、車から降りて写真を撮りたかったのですが時間がなく断念。観光船に乗って40分観光し(観光船内も広かったです。)当日、泊まるホテルに向かいました。次の日、本来の目的の大会に参加するため仙台に向かいました。今回の大会は700人以上の参加者が来場していたらしく、社会的事業所の可能性についての話が始まり、いろいろな意見が出されました。

その日の夜には交流会があり、飲んで食べて、楽しく過ごすことができました。

次の日、第4分科会の「当事者主体の生活支援」に参加。5人のパネラーとコーディネーターに白杉さん、それぞれの5人の発言を聞き、それに対して周りからの発言もありました。1つ目に、重度の障がい者が働くということが、周りにはあまり定着していないと思うこと。2つ目に年金と生活保護を受けている知的障がい者の人が、わずかな賃金で働いているのに、保護を受けていたらせつかく働いて得たわずかなお金が引かれてしまう、それでは働いていることが何だろうと思われるし、各自の額等はわかりませんが、本来保護ではなく、働いて得たお金で生活ができればいいのですが、それほど給料が高くない人のほうが多いと思うこと。頑張って働いて得たお金と、足りない分を年金ではなく、生活保護費ではない他の方法ができればいいと思います。そうすれば保護を受けていることで働いて得たお金を引かれることもないので、働いていく意欲も出てくるのではないのでしょうか。

この分科会に参加して思ったことは、重度の障がい者は働いて生活をするということが前提

ではなく、支援体制を保障してもらいたいということなのかもしれません。もちろん重度の障がい者全員が働けるわけではないのですが、運動を起し、今自分たち障がい者がおかれている状況を伝えていくことも、私たちの仕事です。生活の時間数などの不足している部分を保障してもらうために、自らおかれている状況を伝えるのも仕事。個々にあった与えられるだけの支援ではなく、選べる支援体制になっていかなければ制度が変わっても中身のともわないものと思います。

現在、働ける場所が限られているのも障がいがある、なし関係なく大きな課題のひとつとして考えていかななくてはならないと感じ、自分自身どう改善策に対応できるかを一緒に考えていきたいと思っています。



仙台サンプラザホールにて(開会式 8/28)

共同連に参加して…

ひだまり 永田 陽子

ライフで働き始めてからまだ3年にも満たない私ですが、仙台で行われた共同連全国大会に連れて行ってもらいました。(もしかしてリフト車の運転手要員？ですか～?)

大会内容は詳細は他の方が書かれていますので、私は8月29日(日)に行われた分科会のことを書かせていただきます。

私が参加した第3分科会は、「事業振興分科会」でした。一般企業でも長引く不況のあおりを受け、経営不振で売上が伸びない減収傾向の最中、はたして私たちはこのままでいいのだろうか？打開するにはどうすればいい？というお話を聞けるのかと期待していました。

現在私が働いているひだまりも、なかなか売上が伸びず、今後どのように展開していけばみんなの給料が上がるか模索中だったので、『が

んば』の中崎さんをはじめとする皆さんの話を楽しみにしていました。ふたを開けてみてびっくり!!成功している皆さんのお話を聞く限り「どこの企業？」という感じで、企業家・実業家としての発想が凄い。社福法人はらから福祉会の取り組みは、PB(プライベート)ブランドの開発でしたし、ほっぷの森のレストラン経営は、シェフがプロ!フロアーリーダーもプロの方を入れて徹底していました。

また社福法人伊勢亀鈴会では葬儀屋さんを行っているそうで、粗利が普通の業種とは比べものにならなかったです。

葬儀屋さんのお話ですが、一体どうやって共に働いているんだろうという疑問を持ちました。みんなで祭壇を作ってる？それともお花を飾ったりしている？話を聞くと、営業や祭壇作り、お葬式の進行などは、すべてハンデのない一般の人たち。

ではハンデのある人たちは何をしているの？お香典返しの内職仕事かほとんどでした。

はい？これって共働になるのかしら？どうしても一線を引いているような気がしてならないのは私だけでしょうか？儲けをとるところなの？企業力って結局は能力主義に成らざるを得ないの？それならそんなのいらない。

現在のひだまりに一番近いであろう「ほっぷの森・レストランびすた〜り」のお話は食い入るように聞いてきました。

働き方の根底にある「それぞれができること・やれること・得意な事を発揮できる場所でいたい」は同じでしたが、どうも専門家であるプロの人が入っていることに疑問を感じました。疑問というより、プロを入れなければ成功しないのか？という引っかかりです。

実際、コン・ブリオは素人の集まりかもしれません。しかし、だからと言ってプロを入れれば成功するわけでもないでしょうし、プロに頼らず自分たちの手でなんとかできないのだろうか？と思いました。天の邪鬼(あまのじゃく)なのかもしれませんね。きっと限界も来るかもしれませんが、それを跳ね飛ばしてこそひだまりだと思ってしまいました。

これから法制化などの動きも出てくるようですが、私には難しいことは分かりません。ただただ本能のままこれからもみんなと一緒に働いていきたいと思いました。

共同連に参加して

ひだまり 石田 程哉

何十年ぶりに船に乗って仙台へいきました。中国系の観光客が多く、言葉が通じなくて困ることもありました。仙台についた初日は松島へ行きました。車から点在する島がいっぱい見えて、楽しかったのですが、初日からダウンしてしまい、ゆうらんせんの中でボーっとしていました。他のみんなはカモメにえさをあげて楽しんでいました。

きばりやの男性メンバーと一緒にお風呂に入りました。石カズとドラクエ9の通信で遊んだりしていました。本番にそなえて気合を入れていたので、当日はなんでもありませんでした。おみやげを選んでいよいよ本番です。市長や知事はざんねんながら来ていませんでしたが、国会閉会中だったこともあって、なぜか国会議員がたくさん来ていました。その後の食事会で全く知らない車イスの女性をナンパしたライフメンバーがいました。ぼくも好みのタイプの女性スタッフがいたので声をかけましたが、残念ながらその後の進展はありませんでした。

本番2日目僕は、午前中は第一分科会、午後は第二分科会へ行き勉強していました。そして映画を見ましたが、残念ながら帰りの船まで時間がないということで帰ってしまいました。しかし、この映画は来年封切りになるということなので、見たいなと思いました。

今回で2回目の共同連大会の参加でしたが、けっこう楽しかったと思います。



各事業所のお土産品販売コーナー

共同連宮城大会

ひだまり 川村 良一

8月26日(木)～8月30日(月)まで共同連全国大会に参加しました。共同連前日に松島へ観光

しました。楽しかったです。

初めての共同連

きばりや 今野 美志

8月26日仙台の共同連に行った。土日は勉強会をやりました。自分では解る部分と解らない部分もある。自分は仙台の共同連に行ったのが初めてだった。仙台は、伊達政宗が有名だ。



盛況だった交流会(8/28)

共同連全国大会に行つて

きばりや 織本 亜哉子

去る8月26日から30日まで、共同連全国大会宮城大会に参加しました。

ライフ総勢15人で行きました。ライフに午後2時40分にきばりや4人で歩いて向かいました。午後3時に車で苫小牧西港フェリーターミナルに向かって出発しました。途中セイコーマートに寄って、お酒やおつまみとかを買いました。そして、5時にフェリーターミナルに着きました。5時30分からフェリーに乗りました。乗ってすぐにみんなで宴会が始まって、7時にフェリーが出発しました。仙台港に向けての15時間の船の旅がスタートしました。

27日午前9時35分に仙台港フェリーターミナルに着きました。1日目は、松島での観光でその前に昼食を取って、松島に向けて車で行きました。松島に着いて暑かったです。午後1時から松島1周観光船に乗りました。泊まったホテル大観荘はとてもきれいなところでした。

28日にシンポジウムが仙台サンプラザホテルのホールであり、「共に働き、共に自立できる所得を！」というテーマでコーディネーターと4人のシンポジストの意見発表がありました。

一番初めの田中さんはイタリアの社会的事業所のことを言っていました。他の3人はそれぞれ

れの事業所の意見を発表していました。

シンポジウムの後、クリスタルルームで交流会がありました。700人ぐらいいて、立食パーティーで私は前のテーブルの料理を、テーブルまで持っていきました。たくさん持ってきた料理があり、少し残してしまったものもありました。

子供たちの「仙台すずめ踊り」も披露されました。4組の事業所の余興があり、私も1組の余興に飛び入り参加しました。楽しかった。

29日に分科会があり、私は第一分科会「社会的事業所分科会」に参加しました。コーディネーターと発言者4人がいました。それぞれの意見があり、私は4人目の仙台ダルクの話が、気になりました。ダルクというのは、薬物依存症の事業所で、入寮者は15名いて、薬物を止めるようにするのは大変と言っていました。私は、薬物を飲んだことがないので、薬物依存症の人のことはわからないけど、他に3人の発言者も各事業所の話をしていました。私は色々、解らないところがあり、質問を紙に書いて出したら、ちゃんと解りやすく答えてくれました。

分科会のあと、閉会式があり、その後、最初にシンポジウムを行なったサンプラザホールで映画「やればできるさ」を観ました。内容はイタリアの精神病の人たちが仕事を頑張っている内容で笑うところもあり、楽しかったです。でも、フェリーに乗る時間が近づいてきたので、途中で会場から出ました。

そして、仙台港フェリーターミナルに向かいました。でも、道路が渋滞していて少し時間がかかりました。そして、フェリーターミナルでおみやげをちょっと買って、フェリーに乗って苦小牧港フェリーターミナルに向けて出発しました。



アドボケ7月号 私のおすすめコーナーで紹介
DVD『はながゆく』の赤坂はなさんと

考えてみたら、26日から29日までずっとビールを呑んでいたと思います。苦小牧港に着いて、それから沼ノ端駅前でラーメンを食べました。それから、ライブに帰ってきました。

また今度、共同連大会に参加できたら、また色々楽しみたいなあと思います。

共同連に行つて

きばりや 石川 和寛

先月26日から30日までの間、総勢15人で仙台の共同連全国大会に行ってきました。少しは涼しいと思っていたけど、やっぱり暑かったです。今年は船で行きました。十数年ぶりに船に乗りました。とても立派で、大浴場に、レストラン、小さいけどゲームコーナーもありました。きばりやから本当は3人でしたが、異動により4名が行くことになりました。もじやや各場から集結し、車で苦小牧に向かいました。

仙台での1日目は観光でした。2日目、3日目のシンポジウムは前日まで毎晩ずっと宴会で呑んでいたのが正直あまり覚えていません。

2日目のシンポジウムでは、「共に働き共に自立できる所得を」というテーマで、コーディネーター、シンポジストの方々が意見を述べてました。

3日目の分科会では第1から第7まであり、自分は第2分科会に出ましたが、その前日にも、たくさん呑んでしまったのであまり覚えていません。解りそうで解らないところがあるだけであとは・・・。

交流会で仙台の事業所によるダンスを披露するなどといった余興もあり、700人ぐらいいの立食パーティー、700人もいたので「食べれない」と思っていたがたらふく食べることができました。

最後の最後に最初にシンポジウムを行なった場所で「やればできるさ」の映画を観ました。笑えたりと結構楽しめました。乗船時間が迫っていたので途中で会場を後にしました。

帰りの船の中でも、やっぱりビールやウイスキー、日本酒を呑む、呑むと4泊5日楽しかったです。

次回もし行けることがあったらどうしよう？今度はちゃんと聴くことにしよう。

最後に今回連れて行って下さってありがとうございました。

札幌でも「社会的就労支援策」が行なわれている —— 社会的事業所への支援を求める ——



※本原稿は大谷強さん（京都府在住）のHPに2010.09.02付けで紹介されたもので、アドボケート8月号の掲載された石澤（NPOライフ）の原稿に対するコメントです。なお、原稿については、コメントの部分のみを掲載し、編集部で多少編集させていただきました。

※大谷さんは経済社会保障についてのご研究をこれまでされています。他にも障害当事者と共同の運動をこれまで数々されています。詳しくは、HPをご覧ください。

「ノーマライゼーション政策研究」<http://www.ops.dti.ne.jp/~t-otani/index.html>

大谷 強（障害者政策研究全国集会・実行委員）

マラソントーク ——

趣旨は分るし、同意見だから、あえて反対のことを書いてみる。共同連のマラソントークがこの秋に札幌でも行なわれる。実は大阪府箕面市のマラソントークに聞きにいったことがある（様子を走り書きした文章を書いたことがある「2010.06.28 福祉と雇用の谷間を埋める障害者の新雇用制度の展望」として）。

そこでは司会者の問いかけにもかかわらず、福祉と雇用の谷間を埋める第3の道は、将来的にも続くものか、企業への障害者など（本文では「社会的不利な人々」が使われている）の雇用を増大させるために、とりあえず今の選択肢かどうかは明確にはならなかったと、私は受け取った。それが石澤さんの文章では「第3の道」は将来的にも続くものとして受け止めた。

ただ、一般企業は「営利中心」であるという、放置しておいてよいだろうか。長期的には一般企業も変わりうる。企業の「社会的責任」論を主張している立場に立つ私である。あえて言うなら「第3の道は」その変わることのきっかけになって欲しいと思う。どこまでも営利主導から外れることはないか。悩むところだ。

※マラソントーク・全国大会

1986年から始まったマラソントークは、全国各地での対話を拡げてきました。その年毎の課題や制度の問題点等を取り上げて年に数回開いています。最近は、全国各地の地域に合った学習を兼ねての開催をしています。全国大会は、北海道から沖縄まで全国各地を持ち回り開催しています。

トレーニングの必要性 ——

今は、社会的事業所を社会的に認知させる政治的必要がある。そのときには福祉に支出するよりも就労に投じたほうが財政的に役に立つという手法が求められる。また、政治に働きかけるロビー活動は日本人々が苦手とする活動スタイルだろう。でも、各国でも行なっていたという理由は続けられない。多くの人々が納得できることを主張していても、具体的に制度に創り上げる必要がある。その時に必要なのは今の政治家に突きつけるロビー活動だ。

相互の支え合いも重要だ。現状はそれぞれが手探りで行なっているのだが。ノウハウの交流も重要な役割だ。これをこなすには、ひとつの団体だけでは足りない。さらには同じ事を主張する各団体を統合するという、ある意味では面倒なことに手を染める必要がある。同じような

経営手法で行なうためには、トレーニングの組織も必要となるだろう。どこでやっても成功する保証はない。今は組織で理解ある人（リーダー）によって担われているとしても、そうした人々が経営的にも優れているというから。早晩、教育訓練の場が必要になるだろう。

教育の場が作られることによって、どこで行なっても社会的に成功パターンは類型化されるであろう。競争原理とは一味違ったものになるだろう。

※セルフヘルプ

自助グループ(Self Help Group)とは、なんらかの困難や問題、悩みを抱えた人が同様な問題を抱えている個人や家族と共に当事者同士の自発的なつながりで結びつき、その問題の解決のために専門家の手にグループの運営を委ねず、あくまで当事者たちが主体というのが特徴的である。

誇りを持った人生 ——

誇りをもった人生というのは賛成だ。ここにもあえて反論を書く。でも「働く」ことを中心にした人生を送ることが望ましいと全ての人にとって言い切れるだろうか。

上記の文章中に「労働権」という言葉がある。私も人権のひとつとして、人にはより良く生きる権利（「労働権」）を展開したことがあっただけに、この問題にも結論はない。権利は他人に譲り渡すものではなく、その人固有のものだ。

現行の福祉制度には「誇り」を感じられない人生であると思う。管理された人生でもあ

る。でもこれも今よりももっと利用する人が多ければ、変わりうる可能性があるといえるだろう。もし利用する人が存在していないとか、ごくわずかになったら、今よりももっとひどくなるとも言える。行政が「福祉は無駄だ、就労は社会的に還流する」として財政的な削減だけが焦点になっているのであればよいが。

※共同連

障害者の生活・労働権の確立をめざし、障害のある人ない人の協働事業所づくりを推し進め、あらゆる差別とたたかい、真の共生社会の実現に寄与することを目的としています。

2つの「やればできるさ」 ——

確かイタリアの映画だっただろうか、この日本名で上映されたのは、イタリアの社会的協同組合のことを描いた映画である。イタリアの社会的事業所について精神障害当事者からの物語である（イタリア語での原題は不明）。

同じように私の手元に「やればできる！」（英語はyes we can）というパンフレットがある。これはカナダ・オンタリオ州の「オンタリオ・オルタナティブ・ビジネス協議会（OCAB）」が描いたパンフレットである

（発行元はRCA研究会の名で、旭川市永山2条4丁目2-11シャノンノール2-4、101号長井方 FAX050-1058-8330

e-mail : xcqgj891@ybb.ne.jpとなっている）。

このパンフレットは精神障害者（精神保健コンシューマー／サバイバー）の手によるビジネス活動である。カナダのオンタリオ州では「1980年代より、当事者が自らの手で経営するビジネスが展開されてきました（木工、書類配達、など——原注）そして、1992年、9つの当事者ビジネスの団体が集まった際に、ロビー活動、相互の支え合い、リーダーシップのトレーニングを行なう団体が必要だという声があがり、翌年、当事者によるビジネスの起業や経営を支配する当事者組織（当時の名称はConsumers Survivor Business Council of Ontario）が創設されました」（はじめに）。

しかも映画と同じように精神障害者が主人公だ。カナダには「本物の給料のための本物の仕

事を」というスローガンが共有されているようだ。そこには「保護的な仕事は『やらせ』の仕事だ」という批判が込められています。ここでいう『本物さ』（real）とは、リスクを伴う代わりに、誇りやチャレンジする喜びを与えてくれるということです。それは同時に、競争原理が貫徹する就労でもありません。体験や感情をわかちあい、お互いに支え合うというセルフヘルプ・グループの原理に支えられた就労です」（はじめに）。

当事者に全てを委ねるのか、社会的事業所はこの辺りが不明確だ。また、運営する原理はなんだろうか。まさか競争原理に呑まれることはないよね。カナダの精神障害者たちはセルフヘルプ・グループの原理が基本だといっている。でも、トロントのある当事者の言葉は「当事者事業の魂を奪われて、専門職みたいになってたよ」という辛らつなものであった。

※イタリア映画「やればできるさ」

監督・脚本：ジュリオ・マンフレドニア（Giulio Manfredonia）
【内容】イタリアの180号法（バザリア法）によってイタリアで精神病院の全廃が進められていた1980年代のミラノが舞台。労働組合員のネッコは、革新的な考えのために仲間から非難され、元精神病患者たちの「協同組合180」（180号法による）の所長として左遷される。精神病の知識は何もないが、元患者たちと平等に接するネッコ。労働の尊厳を固く信じている彼は、元患者たちの特技を活かして事業を立ち上げ、成功していく。幾つかの協同組合の実話を基にして、困難を笑い飛ばす喜劇になっているという内容。

モデルとなっている病院がある。共同連では全国各地に映画の貸し出しを行っている。



札幌・障害者活動支援センターライフ
 共働サービス たねや
 〒063-0812札幌市西区琴似2条5丁目
 3-5マンションモモ
 たねや ☎ 011-614-1871   

たねやの仕事って何？

- 土門 岩雄**…今までチラシや漬け物袋の折り込み作業をして、自分としては失敗をしていたので、これからは失敗しないように気をつけて、作業をしていきます。たねやの皆さんと人間関係をじょうずにつき合っていきます。いずれは、清掃とポスティング(チラシ配り)をしたいと思います。
- 柳瀬 司**…荷物をたくさん運べるようにしたい。
- 南 敬一**…仕事を集中したい。
- 高橋 佑直**…これからは配達やパソコンの仕事をやってみたいです。
- 後藤 冬風**…帯を巻く仕事をたくさん巻きます。これから遅刻しないで頑張ります。
- 宮澤 智成**…新聞の折をしました。2つ目折りはていねいに仕事をしっかり合わせて折る仕事 がじょうずにできました。
- 山崎 健一**…新聞の折りが少し難しかったです。漬け物袋の折りをがんばりました。
- 笹尾 知弘**…今思ってる事は、今度こそは!!! 体調、精神を完全にし整えてもう一度本当に行きたいと心の中で思ってる。道一般現場(まんだらけ)を狙ってみようと思っています。(笑)
- 谷津 翠**…仕事について、漬け物袋をやっていっぱい折りをして楽しかったです。給料上がるの楽しみです。「新聞」もやって楽しかったです。
- 小野寺 貴彦**…ポスティングやって楽しいです。金を増やしたいです。
- 山本 守一**…今何か仕事について、ものたりなく頑張ってるのですが、僕たち? 作業に対する熱意が少しはずれているのでは? 清掃に行っている人を見習わなければ、たねやで作業をして金をいただくこともう少し頑張ろうと声を出したいけれども、今の僕はたねやの温室の中で芽が出るのを待っている。これからみんなも頑張ろう。

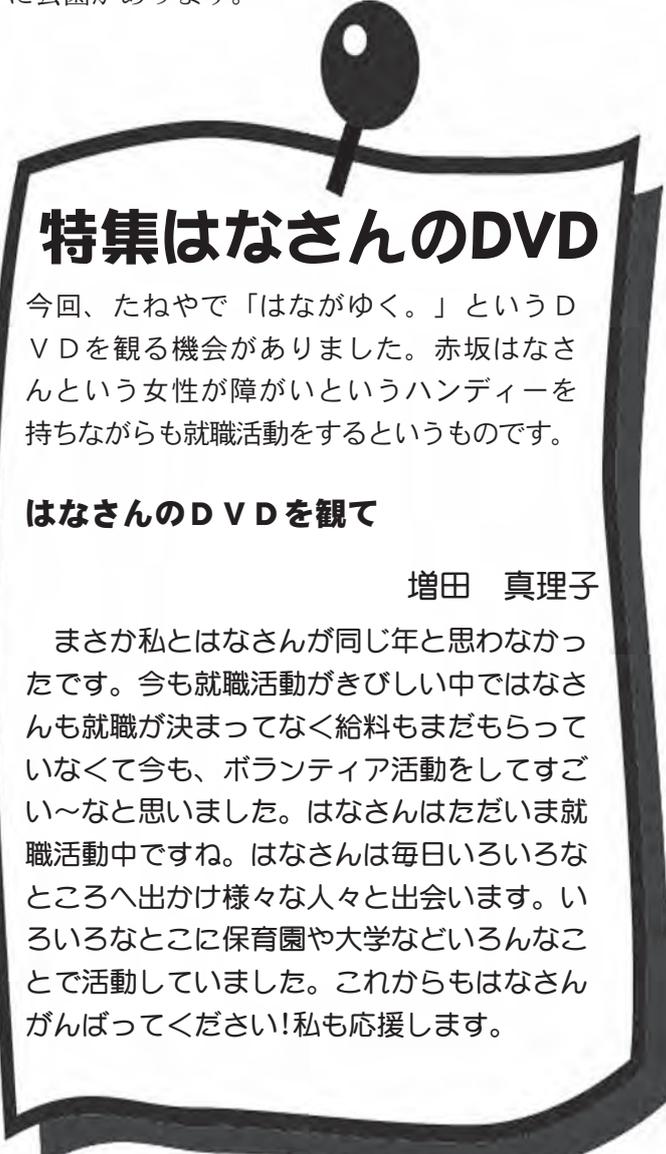
たねやの仕事内容
 軽作業全般・清掃業務・ポスティング
 ご依頼お待ちしております!!

共同住居は新住居に引っ越しました!! 山口 敏明

八軒に住居引越して1週間になります。室内は前の住居より少し広くなった感じです。それから1階の庭の広さにベランダに栽培できればいいかもね。今後も野菜栽培を蓄えて食卓生活に蓄えようと思う。いつもヘルパーさんにお世話になっているのでどうもすいません。

松村 亨

新しい住居に入って少しづつ慣れてきました。でもまわりの環境が、まだなれないのでもう少し時間がかかります。下斗米さんがいなくてさびしいです。部屋が少し狭くなりました。近くに公園があります。



特集はなさんのDVD

今回、たねやで「はながゆく。」というDVDを観る機会がありました。赤坂はなさんという女性が障がいというハンディーを持ちながらも就職活動をするというものです。

はなさんのDVDを観て

増田 真理子

まさか私とはなさんが同じ年と思わなかったです。今も就職活動がきびしい中ではなさんも就職が決まってくなくて給料もまだもらってなくて今も、ボランティア活動をしてすごいい〜なと思いました。はなさんはただいま就職活動中ですね。はなさんは毎日いろいろなところへ出かけ様々な人々と出会います。いろいろなとこに保育園や大学などいろいろなとこで活動していました。これからはなさんががんばってください!私も応援します。

ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション

ゆい 繭結



＜介護職員のたん吸引など基本研修、講義50時間＞

◎厚生労働省が試行事業案

厚生労働省は7月29日、「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会」(座長＝大島伸一・国立長寿医療研究センター総長)の第3回会合を開き、吸引などの試行事業の案を示した。介護職員120人程度を対象とした50時間の講義(基本研修)を今年11月に、実地研修を2011年1月に行う予定だ。

試行事業で実施できる行為は、吸引(咽頭手前の口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部)と経管栄養(胃ろう、腸ろう、経鼻)。実施できる職員は「一定の研修を修了した介護福祉士その他の介護職員、特別支援学校の教員」とした。

しかし、研修時間について、「50時間程度では不安だ」とか「研修のハードルが高い」などと委員の意見は一致しない。

実施可能な職員の範囲も「全くの無資格では困る」とい

う意見に対し、複数の委員が限定的にしないよう求めるなど見解が分かれた。また、「試行事業を実施する前提として、厚生労働省の医政局長通知でたんの吸引を医行為から外すべきだ。その上で業として行う場合は研修を積んでほしいが、業務独占にしてはいけない」(三上裕司・日本医師会常任理事)という意見に対しても、異論が唱えられた。

検討会は、介護職員らが例外的にたんの吸引の実施を認められている現状を改め、法制度を確立するために発足。厚生労働省は2010年度内に結論を出し、2011年の通常国会にも関連法案を提出する方針だ。

(福祉新聞2010年8月9日(月)より)



ヘルパーステーション繭結 佐々木 泰彦

左記の記事は8月9日の福祉新聞からです。

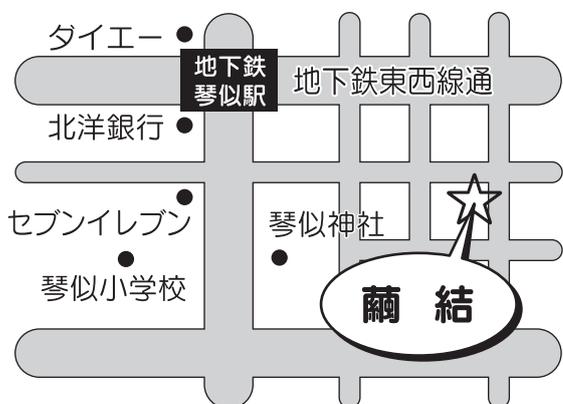
以前は爪切りも医療行為として駄目でしたが、今は条件付きで爪きりと座薬などがよくなりました。

札幌市によると、重度の肢体不自由と知的障がいのある重度心身障がい児・者は昨年度市内に約440人程いるらしく、利用者の要望などもあり、在宅のたんの吸引は本人か家族が同意すればヘルパーが行うことも認められているが、市障がい福祉課は「ヘルパー業務は医療ケアを前提としておらず、たん吸引の研修実施などは難しい」と説明しています。

一人暮らしをしている重度の障がい者は必ずしも訪問看護がくるわけでもないの、家族のいない人は身近なヘルパーしかいないのです。

僕は医療と福祉は別の分野で考えていくのではなく、一緒に介護の実態にあわせて組んでいくべきだと思っています。

重度の障がい者が地域で生活をしていくためには、もっと活動して理解をしてもらわなければならぬのです。



札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F
TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

共働事業所 もじや

〒063-0812
札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOMO 1F
TEL (011)644-5533 FAX (011)613-9323
E-mail: mojiya@adagio.ocn.ne.jp

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理

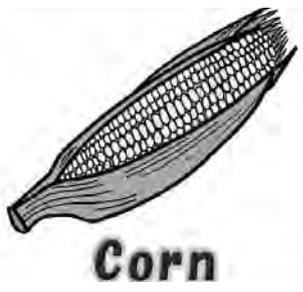
麻生まで

岩崎 佑司

9月11・12日に北区にある下水道科学館というところでバザーがありました。11日(土)特に予定もなかったので会場にあそびにいったのですが、11時前には飽きてしまい、どうしようかなあと考えていたところ、ひだまりでとうもろこしの皮むきという仕事が舞いこんできました。

ひだまりに着くまでは笑顔でいたのですが、到着してとうもろこしを詰めてあるダンボールを見た瞬間に、あまりの物の多さに、言葉を失ってしまいました。

初めのうちは、鼻歌交じりにルンルン気分でもんでいたのですが、意外にも重労働で数をこなしていくと、握力がなくなり思うように、いなくなるところに、心強い援軍がきてくれて安堵しました。



援軍がきてからは、一気にペースがあがって1箱、2箱とみるみる減ってきたので、おのずと気合いが入りました。全てのとうもろこしの皮をむき終わった時には、心地よい達成感がありました。

余談ですが…地下鉄麻生駅から、下水道科学館までの道のりで、迷ってしまったのは心の片隅にしまいたいと思います。

復帰しました

三上 宏美

去年の12月からもじやの皆さんの励ましのもと、産休でしばらくお休みしていました。年明け早々のお正月真っ只中に、陣痛がきて1月3日ぶじに元気な女の子を出産しました。

二人目ということもあって、びっくりするく

らい超安産で楽な出産でした。

保育園には待機している子達がたくさんいる中、月齢が低いからかすんなりと入園できて、毎日お兄ちゃんと元気に通っています。そのおかげで私は7月の末からもじやに復帰しました。

仕事と子育てに毎日大忙しな毎日ですが、子育てだけの生活よりは、もじやで働きながら少し息抜きができて、充実しているように思います。私が産休中に、今までいた所長と数名の仲間が退職をしていました。代わりに新しい所長と仲間がいて、心機一転したもじやで少し戸惑いや不安もありましたが、「待ってましたよ」「ねえさんおかえり」と、みんなで歓迎してくれたおかげで、すんなりと新生もじやに馴染んできた様に思っています。



これからも泣いたり笑ったり怒ったり…といろいろあると思いますが、みんなを力をおわせて頑張っていこうと思います。

それと妊娠中みんながすごく優しくしてくれたのですが…

これからもかわらず優しくしてね(笑)

おじさん(みんな)のよろこび!

頼もしい「仲間」がやっと戻ってきててもじやもさらにもりあがっていくと思います。

子育てをしながらも、働いていくということは、独り身の私には想像もつきませんが、いつも元気な三上さんを見てると安心します。

これからも、もじやの「ねえさん」として活躍してくださいね。お帰りなさい!!

(シングルマン by sin)

もじやでは秋の訪れとともに、年賀状の準備に入っております。もじやをご利用ください。

札幌市障がい者協働事業
共働事業所

きばりや

キ

バラネット



個性豊かなスタッフが共に働いています。

なりたい仕事

濱中 孝仁

きばりやではじめて3年。みんなでやさしいことを一生懸命になりたい仕事のいろいろながんばったことでうれしいです。丁合を42種類が早く終わるように一緒に仕事がんばりましょう。

いつまでも僕が楽しいみんな最後までがんばりました。

これからもよろしくおねがいします。

燃えたポスティング

星 悠

8月30日ポスティングをやりました。みんな暑さで倒れそう人もいました。とくに午前中が暑くて困りました。でも午後から少しずつ涼しくなったからよかったです。

下水道科学館フェスティバル

為井 まどか

9月11・12日は、下水道科学館のお祭でした。前日からの仕込みも合わせると、怒涛の3日間でした。

そんなに混むと思ってなく、甘い考えでいたのですが、いざ始まってみると…人が多い!!!お昼のピーク時には行列もできていて、材料が足りずに一時中止することに…。材料が届いてピークも去り、完売したのは、2日間とも14時過ぎでした。

今回、ずっと売り子をしていた私。お客さんと話している内に、自分でも何を言っているのかわからなくなる事も多々ありましたが、そこは笑顔でお客さんと接し誤魔化しました。売上げもなかなかだったし、頑張ったかいがあるってものですね!!

またこういう機会があるなら、今回の経験を活かして更に良いものにしたいと思います。

夢を語ろう!

織本亜哉子

私の夢は、色々1人でJRや飛行機に乗って一人旅ができるようになりたいです。今は、1人で旅をすることができないので、でも、たくさんの人と行ったらおしゃべりしながら行けるのでそれは楽しいです。

今、手話をやっていて、手話サークルに通い始めて10年が経ちました。10年経ってもできない手話が多くて大変です。でも、サークル員に教えてもらいながら頑張っけて覚えています。

今年、全国手話検定4級に2回目ですが、挑戦します。今、検定に向けて勉強しています。4級受かったら、来年3級を受けてみたいなあと思います。

今、1人暮らしをされていて、7年が経ちました。それから、彼ができたらいいなあ。そして、結婚してみたいです。

こんな仕事をしています。

このコーナーはきばりやで今までどんな内容の仕事をしてきたのかを紹介するコーナーです。今回は『ホチキス止め』の仕事を紹介します。

ただホチキスで止めるだけですが、これも仕事になります。様々な仕事の一工程で行なわれることが多い仕事です。製本作業においては中綴じの場合にホチキスが登場します。また、DM発送の場合に稀に2・3枚の用紙をホチキスで止めて封入することがあります。今きばりやではポケットティッシュにチラシをホチキスで止めるという仕事を行っている最中です。

ホチキス止めは日常でもすることがありますが、仕事として行うとなるとまがらないよう、そしてしっかり定位置で止まるよう注意が必要になります。

きばりやではその他にも…

ポスティングや封入・製本等を行なっております。きばりやにできそうなお仕事がありましたら、是非お電話いただければと思います。

TEL : 011-669-3810

FAX : 011-669-3808

西区西町北7丁目1-5 齊藤ビル1階

Cafe de kibariya



秋が一步一步……。

暑い夏も終わり、北海道にもやっと秋の足音が聞こえるようになってきました。これからはひと雨ごとに秋も深まっていくのでしょうか…。みなさんお体に気をつけてお過ごしください。

これからのカフェですが、野菜の美味しい季節ですので、限定プレートやスイーツなどメニューに取り入れて、お客様によるこんでいただけたらと思っています。
みんなで力を合わせてファイトでゴー！！



いよいよ涼しい秋に

小西 学

9月になると、まだ暑い時期ですが、いつまでも長くは続きません。これから寒い季節もやってくるからです。

今回私たちのカフェに宮田屋珈琲さんが研修や実習に来られて一緒に楽しく過ごすように働きました。宮田さんは以前カフェに来られて、いろいろな仕事内容を教えたり話すことができました。

9月1日・13日と2回私たちのカフェに宮田屋珈琲さんが研修や実習に来られます。なぜなら札幌市役所1階に店舗をかまえるからです。

いつまでもこれからも楽しく過ごせるように応援していきたいと思っています。
まるで交通安全や健康安全を願うみたいだなあ…。

9月11日 エルプラザ
祭り!

無事に終了しました

盛り上がったエルプラザ祭。
たくさんのお客様に利用
していただきました。

ありがとう
ございました!!

10月の限定プレート
ご案内

10月24日(日)~10月30日(土)

秋の味覚をプレートに
のせてご提供いたします。
ぜひお立ち寄りください。

Cafe de kibariya

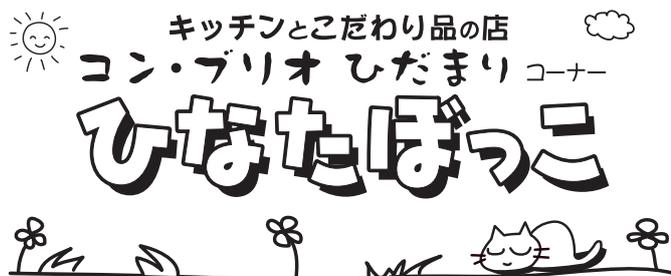
TEL/FAX:011-758-6533

札幌市北区北8条西3丁目
札幌エルプラザ3階ホール前

営業時間 11:00~18:30
定休日 年末年始

※エルプラザ内配達承ります。





コン・ブリオひだまり TEL(011)615-4131
 西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F
ひだまり配送センター TEL(011)613-0611
 西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F
 コン・ブリオひだまりに配送センターができました。

オーガニックマルシェについて。

2010年9月4日・5日パルコシャワー通りにて

蜂谷 和輝

僕は、はじめて野菜を木のケースに入れて売りました。天気は、雨がふらなくて良かった。大根がはやく売れていっぱいお客さんが見てくれて長いあいだ立って販売したからつかれたけれど楽しく販売できました。

ちえりあバザーについて。

2010年8月22日開催

小野寺 宏基

こういったバザーがひだまりにもっとあったらいいと思いました。このちえりあバザーは、それなりに人はいたけど、あまり売れなかった。けど、土日にこういったバザーがもっと増えたら、そのバザーに出るといつもすごく売れるよというバザーが見つかるかもしれないと思います。

宮城共同連に行ってきました。

仙台へ行った感想です

石田 程哉

- ①きばりやの男軍団と一緒に風呂に入った。
- ②笹かまはいっぱい食べたが、牛タンにはありつけなかった。
- ③好みのタイプの女性がいたので声をかけたが、進展はなかった…(´_`)
- ④携帯を初めて使ったが、もう持ちたくないと思った(笑)

下水道科学館イベントについて。

2010年9月11日・12日開催

藤井 孝雄

9月11日(土)・12日(日)、下水道科学館のイベントで出店して、ご来場の方がたくさんきてくれて、5時間以上の一進一退の熱闘を演じました。初めてやるイベントの出店なので、途中ハプニングの連発がありましたが、なんとか終わることができました。

今月のキッチン☆レシピ

キャベツのさつと煮 (4人分)

- 材料：キャベツ6枚
- 桜エビ…10g
- 調味料・だし汁…1と1/2
- 酒…大さじ2
- みりん…大さじ2
- 薄口しょうゆ…大さじ2

- ①丸キャベツを一口大のさく切りにします
- ②丸鍋に調味料を煮立て桜エビを入れて煮ます
- ③丸キャベツを加え強火で1分さつと煮ます

※キャベツは煮すぎるとしんなりしてしまうので、強火でしゃきっと仕上げるのがポイントです。

メンバー募集のお知らせ!

- 今月も引き続き、ひだまりでは一緒に働いてくれるメンバーの方を募集しております。
- 料理を作るのが好きな方、料理を食べるのが好きな方、料理に興味のある方、人と接するのが好きな方、楽しく働いてみたい方、ぜひ、一度見学にきてみませんか。そして一緒に働きましょう。

● 明るく楽しい
● 職場です!



共同連 ムラノト in 北海道

日時 2010年10月15日(金)
18:30~21:00

会場 エルプラザ3階大ホール
札幌市北区北8条西3丁目

共催 NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ
NPO法人共同連

協賛 北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会
共に生き共に働く事業所ネットワーク

●お問い合わせ先…NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ
TEL:(011)614-1873

20:45 19:15 18:40 18:30 18:15

閉
会

シン
ポジ
ウム

基調報告
社会的事業所促進法(仮)
実現に向けて
NPO法人共同連事務局長
斎藤 縣三さん

開
会
主催者あいさつ

受
付
開
始

多様な働き方
= 生き方を
認め合う社会

大阪府大阪市
(株)ナイス代表取締役
富田 一幸さん



愛知県名古屋市
NPO法人わっぱの会理事長
斎藤 縣三さん



北海道ワーカーズ・コレクティブ
連絡協議会代表
嶋 明美さん



NPO法人札幌・障害者
活動支援センターライフ
専務理事
石澤 利巳さん



コーディネート
障害者労働研究会座長
熊本学園大学教授
花田 昌宣さん



第三の働き方 社会的事業所が、社会を変える。

共同連は、障害のある人ない人が、共に働く「共働事業所」をめざしてきた。その働き方は、指導・被指導の関係ではなく、共に支えあう対等な関係をめざした働き方である。また、雇用・被雇用の関係を超えた働き方もある。ワーカーズコレクティブという経営責任を共有し、そして共に働くという働き方である。両者は社会的企業(ソーシャル・エンタープライズ)という考え方で包括できる。こうした一般就労でもなく福祉的就労でもない第三の働き方を通して社会的に不利な状況に置かれている人々の労働統合型というべき社会的事業所(ソーシャル・ファーム)の創出とその役割について考えていきたい。

新鮮な野菜やそうめんはいかがですか？
ライフではこのような商品も扱っております！



農事組合法人オーガニック新篠津の生産者がつくった
安心・安全な野菜をお届けします！



有機野菜・有機農産物の共同購入に参加しませんか？
生産者の顔が見える安心な野菜をご賞味ください。

食品の安全が大きな問題になっている今、「地元で作られたものを地元で消費する」地産・地消が求められています。この考え方は「地域で暮らし、地域で働く」共生・共働の考え方に通じるものを感じます。

私たちNPO法人札幌・障害者活動支援センターライフは、「農事組合法人オーガニック新篠津」の生産者との交流を始めています。

「農事組合法人オーガニック新篠津」の皆さんは、農薬や化学肥料・化学飼料をつかわず、消費者に安心・安全な、そして美味しい野菜や米、鶏卵などを届けるために活動している生産者グループです。

私たちは、「農事組合法人オーガニック新篠津」の協力を得て、「有機農産物の共同購入」をすすめています。この共同購入は、「安全・安心できる野菜の共同購入」だけではなく、配達や仕分け作業を「仕事」として位置づけています。同時に、私たちが参加している「共に生き・共に働く事業所ネットワーク」(略称・ともどもネット)の協同事業としても考えています。

「農事組合法人オーガニック新篠津有機農産物共同購入」にぜひご参加をお願いします。



共同購入の内容

野菜や鶏卵など、その日に収穫された野菜たちが「おまかせセット」として各家庭に配達されます。何が届くか、ワクワク・ドキドキです。

おまかせセット (1パック) 3,150円 (税込)

平均12品～16品目(鶏卵6個含む)入り。

お試しセット (1パック) 1,050円 (税込)

平均4品目(鶏卵なし)入り。

鶏卵 (1パック6個入り) 360円 (税込)

数に限りがあります。

お届けする期間は、6月～12月までの7ヵ月です。



申し込み方法

下記までにFAXか郵送にてお申し込みください。
 申込日切/毎月第3金曜日。12月分は11月の最終金曜日。

注意



12月は、お米と漬け物セットになります。
 ※その他、お米の取り組みも始まります。

配達地域は札幌市内に限定しますが、地域によっては配達できない場合がありますので、事前にご確認ください。



支払い方法

年間予約割引(6月～12月分前納)の方は…
 消費税分をサービス。3,000円×7=21,000円を郵便振替にて前納して下さい。

通信欄に必ず「新篠津共同購入分」とご記入下さい。
 第1回目の配達時にお渡しいただいても構いません。
 通常購入の方は…

毎月の配達時に代金引換でお支払い下さい。

●申込先・お問い合わせ…

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ事務局・石澤まで
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1階
 TEL : 614-1873 FAX : 613-9323

郵便振替 : 口座名 / 特定非営利活動法人
 札幌障害者活動支援センターライフ
 口座番号/02710-4-63485

お知らせ

NPO札幌・障害者活動支援センターライフが設立して20周年（NPO法人化して10年）となりました。そこで、来る10月16日（土）午後より札幌市西区にあります「ホテルヤマチ」で祝賀会を行います。

既に関係する方々にはご案内はお送りしておりますが、お問い合わせ等はライフ本部までお願いいたします。

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOMO1F
TEL 011-644-5533

私のオススメ

「お仕事のマナーとコツ」

たねや 島 明子

私が今回オススメする本は西出博子さんの「暮らしの絵本 お仕事のマナーとコツ」です。

仕事をする上で、必要不可欠なのが「マナー」です。誰もが気持ち良く仕事をしたいものです。この本ではマナーとは“相手の立場に立って物事を考え行動すること”と述べています。簡単に言えば、せっかく働く意欲があっても必要最低限のマナーを知らなかったがために、相手を不快にしたり、信用を失ったりして自ら損害を被ってしまうのです。そんな事を避けるためにも、是非、気軽に読んでほしいのがこの本です！絵本&マンガ感覚なので堅苦しい本が苦手な人にもお勧めです。

仕事をしている人はもちろん、仕事していない人にも今後のために活用してみてください。

- ・監修：西出博子
 - ・絵：伊藤美樹
- 企業勤めの人、専門職、販売員、アルバイトなど、すべての仕事に携わる人に向けた、実践的マナー本。仕事の基本的なマナーから、職場の人間関係を快適にし、仕事の段取りを円滑にするための仕事術までを、オールカラーのイラストでわかりやすく紹介。
- ・定価 1,260円



ご協力ありがとうございます

- 賛同会費** 光増 昌久様 佐藤 靖子様
- 維持会費** 濱本 正彦様
- アドボケ購読料** 特定非営利活動法人つむぎ様
特定非営利活動法人
札幌カウンセリング学習センター様
太田 隆男様 水口 祥次様
石田 章 様

編集後記

ともかく暑い夏が終わりました。大雪山系では雪も降ったようですから、どうりで朝晩肌寒いわけです。肌寒くなってくると、あの暑さが恋しくなってくるから、人間とは勝手なものです。これから北海道は秋から長い冬に向かいます。少し憂鬱な季節ですが、自宅で夜長を楽しむには本を片手にチビチビやるのもいいです。しかし、ほとんど読まずに寝てしまうことしばしば。酒も肴も美味しい季節ですからね。ライフも設立から20年が経ちますが、これまでライフを応援してくださった方々と語りながら一献酌み交わしたいですね。（たけ）

アドボケイト 長月号(第118号)

2010年9月10日発行（毎月10日発行）通巻第462号
 HSK通信1973年1月13日第3種郵便物認可
 発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会
 細川 久美子
 〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
 編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ
 事務局長 我妻 武
 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F
 TEL 011-614-1873 FAX 011-613-9323
 E-mail npolife@beach.ocn.ne.jp
 ホームページ http://npolife.net/
 郵便振替口座 02710-4-63485